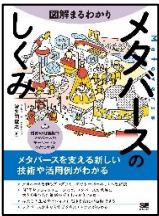




# 新着本案内 | 11月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校  
瀬木学園図書館  
令和4年11月2日

『図解まるわかりメタバースのしくみ』  
波多間俊之著 (007.35/ハ)



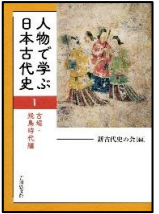
メタバースの全体像から基礎的なしくみや新しい技術を解説しています。メタバースの発展によって生活やビジネスに起きる変化もわかります。

『宗教対立がわかると「世界史」がわかる』  
島田裕巳著 (162/シ)



宗教とテロの関係、急激にイスラム化が進む欧州で起きていることなど、「宗教対立」を入口に、新たな世界史の見方を提示しています。

『人物で学ぶ日本古代史 1・2』  
新古代史の会編 (210.3/シ/1・2)



有名な人物から教科書に載らないマイナーな人物まで、人物を通して古代史を読み解きます。

『大人のための地元再発見』

『北海道の教科書』(291.1/ホ)

『埼玉の教科書』(291.34/サ)

『東京の教科書』(291.36/ト)

『神奈川の教科書』(291.37/カ)

『愛知の教科書』(291.55/ア)

『大阪の教科書』(291.63/オ)



地元を深く知りたい人おすすめです。

『普通の若者がなぜテロリストになったのか』  
カーラ・パワー著/星慧子訳 (316.4/パ)



宗教に関係のない若者たちがテロ組織に加わった背景を詳らかにして、彼らの帰還と社会復帰を支援する人々の模索している姿を描きます。

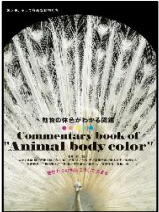
『いきもの六法』

山と溪谷社いきもの部編 (480.9/ヤ)



自然の生き物たちに関する法律を、生物・環境ごとに章分けした上で、法規制が「種・場所・種と場所・その他」のどれに対してかかっているかを分類しています。

『動物の体色がわかる図鑑』  
池田譲ほか編著 (481.1/イ)



動物の色素細胞のなり立ちや外敵、餌となる動物の関係に到るまで、動物の色にまつわるエトセトラを各分野の専門家が語ります。

『ビジュアル図鑑今と未来がわかる』

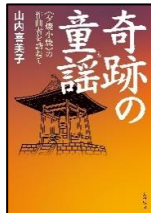
『工場』多田夏代著 (509.5/タ)

『電気』川村康文監修 (540/カ)



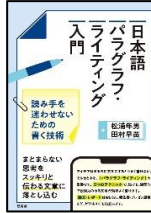
現在の技術から未来の技術まで、豊富なビジュアルを使って解説しています。

『奇跡の童謡』山内喜美子著 (762.1/ク)



童謡『夕焼小焼』作曲100周年記念出版版です。『夕焼小焼』の作曲家・草川信の軌跡を訪ねています。

『日本語パラグラフ・ライティング入門』  
松浦年男、田村早苗著 (816/マ)



アイデアはあるのに文章にするとうまく書けないときは、「パラグラフ・ライティング」の出番です。5つのテクニックで、論理的で説得力のある文章が効率よく書けます。

『英語でお悔やみ申し上げます』

ジェームス・M・バーダマン著 (837.8/バ)



アメリカの文化的な背景を解説しながら、冠婚葬祭、イベント、災害などの「非日常」の場面に直面した際に使える英語表現を学びます。

『小さな本』

『小さな星の本』渡部潤一監修 (440.4/ワ)

『小さな草花の本』

草花さんぽの会編集 (470/ク)

『小さな色の本』

リベラル社編集/日江井香絵 (757.3/リ)



## 文学

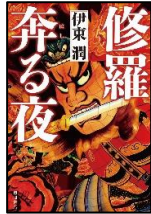
『いつもの木曜日』

青山美智子著 (913.6/アオ)



累計26万部を突破した『木曜日にはココアを』の前日譚を、ミニチュアとともに読む、絵本のような小説。

『修羅奔る夜』伊東潤著 (913.6/イト)



東京で働く紗栄子に、青森でねぶた師として活動する兄・春馬が病に倒れたとの知らせが入る。帰郷して春馬を手伝うが、春馬は入院してしまう。

『匿名』柿原朋哉著 (913.6/カキ)



覆面アーティスト・Fの歌声に命を救われた友香は、Fを追いかけて始めた。そして、衝撃の事実を知ることになった。

『私はだんだん氷になった』

木爾チレン著 (913.6/キナ)



辛い現実を生きられなかった少女たちが、誰にも言えない恋にすぎたゆえの、禁断の黒歴史ミステリ。

『怪談小説という名の小説怪談』  
澤村伊智著 (913.6/サワ)



古今紡がれてきた「怪談」の数々を、ホラーとミステリ両界の旗手が、更なる戦慄へと塗り替える!「小説」ならではの企みに満ちた、著者真髓の7編。

『点滅するものの革命』

平沢逸著 (913.6/ヒラ)



☆第65回群像新入文学賞受賞作品☆はぐれものたちが集まる多摩川の河川敷で、5歳の「わたし」の目が映す、ひと夏の奇跡。

『あの子とQ』万城目学著 (913.6/マキ)



吸血鬼である高校生・弓子の前に、「Q」と名乗るだけものが現れた。弓子が17歳の誕生日を迎えるまでの10日間、人間の血を吸わないか監視しに来たと言うが...

『われら闇より天を見る』

クリス・ウィタカー著/鈴木恵訳 (933.7/ウイ)



☆英国推理作家協会賞最優秀長編賞ゴールド・ダガー賞作☆30年前、殺人事件で逮捕された男が刑期を終えて町に帰ってきたことで、新たな悲劇が生まれる。

## 文庫

『ラジオの戦争責任』

坂本慎一著 (070.14/サ)

『あの日を刻むマイク』

武井照子著 (699.39/タ)

『凧として弓を引く2』

碧野圭著 (913.6/アオ/2)

『君が異端だった頃』

島田雅彦著 (913.6/シマ)

『天久鷹央の事件カルテ 8』

知念実希人著 (913.6/チネ/2-8)

『わたしを変えた夏』

汐見夏衛ほか著 (913.68/スタ)

『塩と運命の皇后』

ニー・ヴォ著/金子ゆき子訳 (933.7/ヴォ)



## 新着雑誌案内

『mini』



カジュアルでシンプルなおしゃれ好きへ! “シンプルで大人かわいいリアルスタイル”旬のファッション、ビューティ情報が満載です!

